

天候に
注意して

突風から身を守ろう!

夏の雷雨は本県の特徴ですが、雷雨を降らせる積乱雲(入道雲)は竜巻などの激しい「突風」をもたらすことがあります。

県内では、今年、多くの突風被害が報告されています。

気温の上昇等により起きやすくなる「突風」の予兆に注意し、身の安全を確保しましょう。



急な冷たい風!
黒い雲!

突風の予兆

竜巻などの激しい突風は、積乱雲の発生に伴って起こります。以下のような予兆に注意しましょう。

- 低く黒い雲(積乱雲)が近づいてきた!
- 雷鳴や雷光が見える!
- 急に冷たい風が吹く!

予兆を感じたら… 安全の確保!

○屋外にいたら・・・

急いで「丈夫な建物」に逃げ込みましょう。
逃げる際に、飛来物や倒木にも注意が必要です。

○屋内にいたら・・・

雨戸、窓、カーテンを閉め、建物の中心に近く窓のない安全な部屋に移動しましょう。

今年の突風の発生状況

県内では、今年、すでに6件*の突風が報告されています。

※気象庁HP (R2.8.15 現在)



令和2(2020)年8月11日
(国)119号 日光市森友
大雨突風による倒木

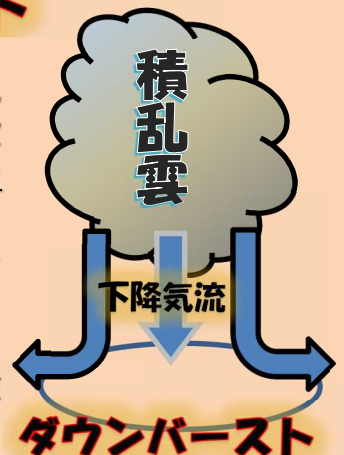
令和2年8月
日光市で発生

～突風の種類のひとつ～

ダウンバースト

積乱雲から吹き降ろす下降気流が、地表に衝突して水平に吹き出す激しい空気の流れをダウンバーストといいます。

吹き出しの広がり数百メートルから十キロメートル程度で、被害地域は円形あるいは、楕円形など面的に、広がる特徴があります。



日頃から

突風に備える

激しい突風の発生に注意を呼びかける「竜巻注意情報」などの情報の入手手段を調べておきましょう。

*

飛散防止フィルムの貼付など、窓ガラスの飛び散りによる怪我を防止しましょう。

*

加入している保険が、竜巻などの突風による被害を対象としているか確認してみましょう。

